

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 5

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		外部企業と提携し、廃棄物の運搬・処分から発生する環境負荷・生活環境保安上の支障を未然防止に取り組んでいる。(リサイクル処理・堆肥化等)			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガスなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力や水道などの光熱費について毎月の使用量を把握し、削減についての目標値を定めている。主な取組みとして社内の照明の多くにLEDを採用、及び昼休憩時間内限定での消灯に取り組んでいる。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		県HP掲載の簡易計算シートを活用し、現車両でのCO2排出量を把握できている。なお社用車(1両)をR8年7月に、「環境にやさしい車」(ハイブリッド車もしくはEV車)に代替予定である。また、職員に対し積極的な公共交通機関の利用を促している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		弊社は熊本市事業所グリーン宣言を採択しているため、社をあげて自然環境への負荷の軽減を心掛けております。また、使用物品についても環境に配慮した製品の購入を行っている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		給食で発生する食品廃棄物の発生量を正確に把握し、栄養教諭等と情報を共有することで食品ロスの削減や食品廃棄物の再生利用率の向上に繋げている。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		調理の際やトイレ使用の際の節水を職員へ周知するとともに、事業所内に節水機器の設置を積極的に行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生用紙の利用を促進している。また、裏紙の再利用にも積極的に取り組んでいる。環境に配慮した機器・設備では、LED照明や省エネ型複合機の導入を積極的に進めている。									9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		弊社では複数の給食調理施設を営んでおり、食材の適正発注や在庫管理の徹底により、食品ロスの削減に取り組んでいます。また、残食量の把握と分析を行い、献立内容や提供量の見直しに反映させることで、無駄のない調理を心がけています。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			積極的にEV車又はハイブリッド車の導入に取り組んでいる。											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

